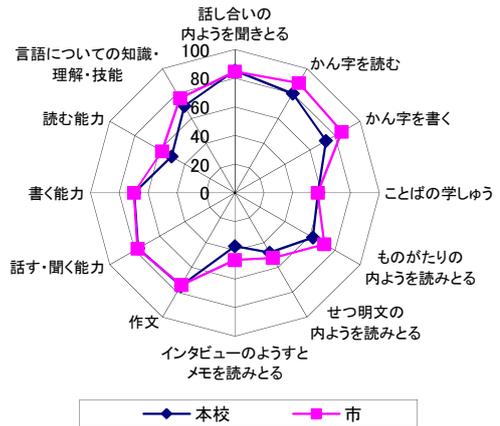


宇都宮市立御幸が原小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	85.3	84.6
	かん字を読む	80.0	88.6
	かん字を書く	72.8	85.4
	ことばの学しゅう	57.6	57.3
	ものがたりの内ようを読みとる	62.3	71.5
	せつ明文の内ようを読みとる	48.1	52.5
	インタビューのようすとメモを読みとる	37.2	46.8
	作文	74.9	74.2
観点別	話す・聞く能力	77.4	77.8
	書く能力	69.7	69.9
	読む能力	50.7	58.2
	言語についての知識・理解・技能	69.9	76.0



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	平均正答率は85%を超えており、市の平均よりも高い。特に正答率が高かった問題は、大事なことを落とさないように聞き取る問題であった。また、話題に沿った意見と理由を話す問題の正答率も市の平均よりも高かった。	国語科や会話科の時間を活用し、聞く態度の育成に努める。また、授業だけでなく様々な場面で、自分の意見を発表する機会を増やし、自分の意図が正確に伝わるような話し方の指導を行うとともに、聞き手になった時には、しっかりとメモを取りながら話が聞けるように指導していく。
かん字	平均正答率は、「読み」も「書き」も市の平均正答率よりやや低い。「読み」では「着く」、「書き」では「汽車」の正答率が低かった。	漢字の読み書きについては、ドリルや漢字チャレンジ等で繰り返し学習を行い、定着を図っていく。また、日記指導、作文指導の中で、できるだけ既習の漢字を使って文章を書くよう継続的に指導する。
ことばの学しゅう	平均正答率は、市の平均よりもやや高かった。漢字の部首についての問題の正答率が最も高く、定着率が高い。国語辞典の使い方問題では、正答率が市の平均よりもやや低かった。	授業や家庭学習の中で、積極的に国語辞典の活用を図り、国語辞典の使い方に慣れるようにしていく。また、新しい言葉が出てきたときには、辞典で意味を調べることを奨励し、語彙を増やして使えるように指導していく。
ものがたりの内ようを読みとる	平均正答率は、市の平均よりもやや低かった。登場人物の気持ちを読み取る問題と、場面の様子を読み取る問題の正答率が低かった。	物語の学習では、登場人物の気持ちや様子がわかる言葉や表現に気をつけながら読むように指導していく。また、読書や読み聞かせの時間を利用して文学的な文章に触れる機会を増やし、読書を奨励する。
せつ明文の内ようを読みとる	平均正答率は、市の平均よりもやや低かった。特に、段落の内容について話し合いをしている様子から、あてはまる言葉を探す問題の正答率が低かった。ただし、市の平均も低かったので問題の難易度が高かったと思われる。	説明文を読み取る過程で、段落相互の関係を的確に押さえて読んだり、要点を確認しながら読んだりすることができるよう、説明文の正しい読み取りの仕方を授業の中で十分に指導していく。
インタビューのようすとメモを読みとる	平均正答率は、市の平均よりも低かった。特に、与えられた情報を正しく読み取り、必要な事柄を補う問題の正答率が低かった。ただし、最後の問題であったため、時間的に余裕がなくじっくり問題に取り組めなかった児童がいたことも、正答率の低い一因と思われる。	国語の時間だけでなく、社会や総合でも効果のあるインタビューの仕方やメモの取り方を繰り返し指導していく。また、与えられた資料から相手の意図を正しく読み取れるように大切な言葉に気をつけて読み取りができるようにしていく。
作文	平均正答率は、市の平均よりもやや高かった。2段落構成で文章を書くこと、自分の考えが明確になるように、必要な事柄や理由を書くことがよくできていた。	作文の基本的な書き方を十分に指導していくとともに、題名に即した内容の文章を、決められた字数や適切な段落数で書けるように、繰り返し練習させるようにする。また、短作文や日記など、文章を書く機会をできるだけ増やすようにする。